

## なかよしごはん参加報告 4月17日(土)

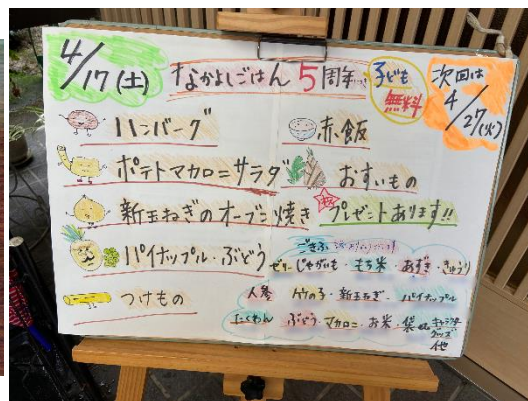
植野航史

日時：2021年4月17日(土) 15時～20時

会場：天理教会

参加者：大人+小学生高学年以上22名、小学生低学年以下13名、スタッフ12名

メニュー：ハンバーグ、赤飯、ポテトマカロニサラダ、おすいもの、新玉葱のオープン焼き、フルーツ(パイナップル、ぶどう)、つけもの



今回の開催日はなかよしごはんの5周年記念日であった。そのため、参加者には食事後にプレゼントのお渡しがあった。会場での食事には人数制限を設けているため、事前の受け付けで参加できなかった方にもプレゼントをお渡しした。ありがたいことに、なかよしごはんでは大変多くの寄付をいただき、特にお野菜は大きいダンボール何箱分もの量をいただいている。お食事として使わせてもらう他、今回はプレゼントとして参加者の方にもお渡しすることができた。またプレゼントには、キャラクターのナップサックやおもちゃなどもあり、男女問わず小学生の児童に好評だった。他にも“そーなんだ！”という本も自由に貰え、大学生の私でも知らない事柄や豆知識の多く載った面白そうな本もあった。本は大量にあるため、どれを読もうか迷う子供達も多くいた。



私は、準備では野菜やフルーツのカットや食器の準備を行い、お食事中は案内や検温、プレゼントのお渡しや説明を担当した。途中、参加者の中学生の男の子と一緒に食事を摂り、休憩を挟んだ。会場に入るためには、外に常設された手洗い場で手を十分に洗い、会場内で検温や受け付けを行わなくてはならない。食事を取る時間は17時～17時30分など予約の際に決められており、食事をするお席も予め参加者ごとに決められている。配膳はスタッフの方が行い、おかわりのスペースには常にスタッフの方が配置されている。食事後は、参加者自らが片付けをするスペースで食器を種類ごとに分けて片付けを行う。決まり事やルールを守ってくださる参加者が多い事は、なかよしごはんの活動が地域に受け入れられ、認知されている証拠かもしれない。



(※現在、手洗い場の石鹸は自動のものに変更されている。)

子ども食堂とは別件のなかよしごはんの活動にも参加しているため、顔を覚えていただける参加者の方や子供達も増えてきている。子供達から話しかけられることや親御さんから相談を受けることもあり、多少は信頼関係を構築できているのかと思うと嬉しく感じている。ボランティアは自由で強制力の無い立場だが、ボランティア一人ひとりが感じる責任感の大きさは、どれだけ活動に参加しているかも影響する要素の一つであると実感した。

2018年の11月頃に初めてなかよしごはんに参加してから約2年。昨年の周年記念日には参加できなかったため、今回共にお祝いすることができて良かった。より一層なかよしごはんの活動を成熟へと進め、地域の方に想いを還元するためにも、現状の課題や潜在的な課題の解決も含め、今後も参加を続けていきたい。

## 名古屋市熱田区「子ども食堂 なかよしごはん」

### 2021年4月17日勉強会報告

2021/5/4 中京大学 成ゼミ4年 c318079 藤本涼花

開催地：はやみずさんの台所（天理教春港分教会 内）名古屋市熱田区六番二丁目7-6

開催日時：土曜日開催 10：00～11：30

参加費：子ども（中学生まで）100円（昼食の有無に関わらず）

4月17日のメニュー：カレーライス、サラダ、果物



今回の大まかな流れ：勉強指導 40分→10分休憩→勉強指導 40分→食事準備→ごはん→食器片付け、会場撤去作業→反省会→解散

4月17日（土）、なかよしごはんにボランティアとして参加した。今回も定刻の10：00前に会場に着き、屋内へ入る前に手洗いを済ませてから、受付と検温を済ませた。なかよし勉強会に参加し続けて最近思うことは、子ども達が開始時刻10：00以降にやって来ることが増えて、10：00ちょうどに勉強開始できていない。私が細かいことまで考え過ぎなのかもしれない。ただ、大幅に遅刻してくるような子はほとんどいないし、和気あいあいと勉強をするための雰囲気や空間の形成が自然とできるのはなかよし勉強会ならではの感じる。

今回も私が普段から指導担当している小学6年生の女の子の勉強を見た。今回は算数のテキストの復習と予習を進めた。10分休憩まで集中力が続かない様子だったため、時おり雑談を交えながら学習を進めた。

10分間の休憩後も算数を進めていたが、最中にその子がお馴染み都道府県パズルをしたいと言い出し、キリがついたところで今回も都道府県パズルをすることにした。前回測ったタイムより速くパズルを完成させられていたので、次回もパズルをする機会があれば記録を塗り替えてほしいと思う。

勉強のキリが着いたところで、昼食準備に移った。その子はよく昼食前に帰ってしまうが今回は昼食も食べていくとのことで、私と一緒に食べる約束をしたが、成り行きでその子はベテラン先生と食べることになった。少し残念だった。

食べ終わってからは片付けに入った。皿の片付けや机の移動・撤去や掃除機がけなどを行った。それからは、かるたをしている子もいれば、広間を走り回る子もあり、各々の好きなことを楽しんでいた。私は、子どもに混ざって追いかけてっこをしたり、おんぶするよう指示されたりしてとにかく体力的に疲れる思いをした。しかし、エネルギーが子ども達が心から楽しむ様子が見られるのは何よりの収穫である。

スタッフ反省会の準備ができたところで、私たちスタッフはそのまま反省会に移った。サポート先生をしたスタッフたち1人ひとりが、担当した子どもの様子や進捗などを語る。私

も担当した子について共有した。

今回いつもと変わったところとしては、新たな教材が加わったこと、帰り際にハンドバッグ等のお土産が並べられたことだ。今後ともなかよしごはんに関わっていこうと思う。



## 名古屋市熱田区「子ども食堂 なかよしごはん」

### 2021年4月3日勉強会報告

2021/4/29 中京大学 成ゼミ4年 c318079 藤本涼花

開催地：はやみずさんの台所（天理教春港分教会 内）名古屋市熱田区六番二丁目 7-6

開催日時：土曜日開催 10：00～11：30

参加費：子ども（中学生まで）100円（昼食の有無に関わらず）

4月3日のメニュー：ミートパスタ、サラダ、果物



今回の大まかな流れ：子育て講座→ごはん→食器片付け、会場撤去作業→2020年の報告・振り返り会→講演会視聴→解散

4月3日（土）、なかよしごはんにボランティアとして参加した。いつも通り10時前に会場へ着き、屋内へ入る前に手洗いを済ましてから、受付と検温を済ませた。定刻の勉強会開始10：00に勉強会はスタートした。前日に速水さんから「子育て講座を受けてみないか」とお誘いを受け、今回は勉強会のほうにではなく子育て講座に出席した。勉強会と並行して行われている、主に幼い子を持つ母親を対象に開いているものだそう。もちろん私は学生かつ未婚であるが、速水さんいわく、子ども達の勉強を教えたり、人とのコミュニケーションをとったりする上で聴いて損はないという。勉強会に参加する学生の手隙の時間に順番に、子育て講座のほうにも参加してもらいたかったそうだ。それで今回の子育て講座の学生参加者に私が選ばれた。

勉強会は1階、子育て講座は2階で開催される。私が2階に通されるとすでにプロジェクターや机、視覚資料等が用意され、すぐに講演を始められる状態だった。講師の速水氏もいらっしやった。彼は、陽氣会という青少年養育支援センターで、子育て全般についての支援や相談に関わってこられ、今回の内容も社協？児相？（また聞いておきます）から委託を受けたものらしい。

私以外の参加者には、子どもを持つママさん2名もいた。今回の参加人数は少ない方だという。早速視覚資料に沿って講演は進められた。お互いの自己紹介をし合い、ママさん2名とも子どもは里子だと話していた。速水氏から子育てにおけるポイントを教わりながら、ママさん達と私で実際に子ども役やママ役を交代しながらロールプレイングをしたことは印象的に残っている。特に私にとって、ママ役として即興で臨機応変なセリフを言うことがとても難しかった。自分が母親未経験ということも含め、現役のママさんたちがママ役としてうまく立ち回っているのを見て、母親の偉大さみたいなものをも感じるとともに、仮に自分が母親になった時少しでも上手に子育てに関われたらいいなと思った。

子育て講座が終わって1階に行くと、勉強会を終えたみんながすでに昼食時間に移って

いた。サポーターさんが私の分の昼食をすぐ用意してくださって、ベテラン先生とお話しながら食べた。おおよそ全員が食べ終わったところで一斉にごちそうさまをした。そしてすぐ皿の片付けや机の移動・撤去や掃除機がけなどを行った。片付けをしている最中に、私が普段から指導担当している小学6年生の女の子から、「なんで先生今日は教えてくれなかったの〜！」と残念そうに言われたので「次回は私と一緒に勉強しようね」と言っておいた。私をあてにしてくれていること、楽しみにされていたことが知れて嬉しかった。

片付け後の子ども達はというと、かるたを楽しむグループもあれば、広間でじゃれ合ったりだるまさんがころんだをしたりするグループもあった。私と仲良くしてくれる女の子達は、私がなかよしごはんに関わり出した昨年12月よりも、表情や雰囲気が比べ物にならないくらい明るくなりとても楽しそうである。前向きな変化がこうしてありありと見られることは、この上なく幸せな気持ちになれる。

サポーターから反省会を始めると声がかけられたところで、子ども達との遊びは一旦切り上げた。今回はお馴染みの反省会ではなく、2020年(2020年4月1日~2021年3月17日)の活動報告とその振り返りをした。資料をいただき、速水さんから、お金関係の話や活動内容等のお話があった。お金に関して、2020年のコロナ禍は寄付が本当に多かったという。

コロナ禍で始まったなかよし勉強会についても、「意欲はあるのに」勉強の機会がない・学力が低下しているという参加者の声があったことがきっかけだったそうだ。なかよし勉強会が始まって3ヶ月が経つ中で見えてきた課題もあった。直前でも簡単に休めることがマイナスに作用して、子どもの参加予定者がごっそり当日欠席することが多いことだ。せっかく大学生ボラやベテラン先生が来てくれるのに、あまりにも子どもが来ないのはミスマッチでもある。そこで、これまでFacebook等で公にしてこなかったこの勉強会をあえて公にしてみてもう少し多めに子どもの参加者を募るのもありかもしれないという声もあがった。なかよし勉強会は、私も初期のうちから参加継続中なので、今後も細く長く続いてほしいと思う。

嬉しい話もあった。「ノイエス」という熱田区のカフェが、なかよしごはんへの寄付に参入する話が出たという。商品全てに1円の値上げし、1年間で集まった1円をなかよしごはんに寄付するシステムを作ってくださいそうだ。カフェ店長さんの、将来実りある子どもたちに何かしたいという思いから、のご好意だそう。実は今日のメニューもそのカフェから寄付のソースを使った昼食だった。

反省会後は、湯浅誠氏の子ども食堂フォーラムにもzoom参加した。2階のプロジェクターを使い、なかよしごはんとして、速水さんやサポーター4名もそのまま参加した。湯浅氏のメッセージとしては、①つながり…物理的距離がはなれてる今だからこそ、つながりたい②「当たり前はありがたい」…コロナ休校したからこそ学校のありがたみに気づく。続けて「有限性の意識」という終わりがあるかもしれないという意識についても主張していた。

あくまで私は、なかよしごはんが行う活動の一部である勉強会にしか参加してこなかったが、この日の子育て講座への参加によって、現代の母子関係の課題に積極的にアプローチしていこうとするなかよしごはんの姿をしっかりと見られた気がする。今回は子育て講座というとても貴重な機会に身を置くことができた。今後ともなかよしごはんに関わり続けていこうと思う。

## 名古屋市熱田区「子ども食堂 なかよしごはん」

### 2021年3月20日勉強会報告

2021/4/13 中京大学 成ゼミ4年 c318079 藤本涼花

開催地：はやみずさんの台所（天理教春港分教会 内）名古屋市熱田区六番二丁目 7-6

開催日時：土曜日開催 10：00～11：30

参加費：子ども（中学生まで）100円（昼食の有無に関わらず）

3月20日のメニュー：シチュー風スープ、ブロッコリーごはん、サラダ、果物



今回の大まかな流れ：勉強指導 40分→10分休憩→勉強指導 40分→食事準備→ごはん→食器片付け、会場撤去作業→反省会→解散

3月20日（土）、なかよしごはんにボランティアとして参加した。今回で私自身は6回目の参加となる。今回の勉強会自体は第8回目の開催だった。今回は定刻の勉強開始時刻10：00より早く会場に着いた。屋内へ入る前に手洗いを済ませてから、受付と検温を済ませた。



玄関外にある手洗い場

今回は若者のサポーターが私以外新米の人ばかりだった。よって今回の仕切り・進行役はほぼ自動的に私が務めることになった。「まずは40分間。分からないところは進んでサポーター先生に質問しましょう」と私から全体へ伝え、新米若者サポーターの自己紹介をしたのち、勉強会はスタートした。その他の進行の役割としては、勉強時のタイムキーパーやいただきますごちそうさまの号令がけを行った。

今回も私が普段から指導担当している小学5年生の女の子の勉強を見た。今回は英語のテキストを持ってきた。その子に英語を教えるのは初めてだった。ローマ字がまだ覚えられていないとのことだったので、大文字と小文字をクイズ形式で発音しながら覚えさせるよう教えた。10分間の休憩の直前にローマ字のキリがだったので、今回も都道府県パズルをすることにした。



都道府県パズル

10分休憩に入り、私からかるたをみんなでやろうと提案し、若いサポーターも含め子どもたちと楽しんだ。毎回都道府県を覚えるかるたを使っていたため、マンネリ気味かな？と思い、日本の歴史上人物のものをあえて使ってみたところ、子どもたちは皆、新鮮に感じていたようだったのでよかった。私から指導担当の子にもかるたをしないか誘ったが、その子は1人で都道府県パズルに夢中になっていた。

10分休憩も終わり、勉強に戻るよう全体に伝えた。指導担当の子とは、都道府県パズルのタイムアタック勝負をした。その子は、私には負けまいと、私がパズルをする邪魔をしいたずらをしてくるなど和気あいあいと過ごした。その子はほとんど毎回この勉強会に参加しているため、私自身とても感心している。私に会いに来るのが楽しいのかなとこちらも錯覚しそうであるが、ともかくその子にとってなかよしごはんは、居心地いい場所として捉えてくれていることには間違いないと思う。

昼食準備にはいつも通り全員で取りかかった。その子は今回も昼食前に帰ってしまった。子どもたちが自発的に昼食の準備を進めていく様子を見ながら私も、新米サポーターに教えつつ準備を進めた。全員でいただきますをしてから食事に移った。担当の子が昼食を食べず帰る日、私はベテラン先生の方と食事をご一緒する機会が多いが、この日は一人ぼっちで食べた。コミュニケーションをとれずに食べる食事は味気なく思えてきたので、隣に座っている人たちに話しかけながら食べた。

食べ終わってからは片付けに入った。皿の片付けや机の移動・撤去や掃除機がけなどを行った。それからは、かるたをしている子もいれば、広間を走り回る子もおり、各々の好きなことを楽しんでた。私が「仲間に入れて！」と、途中からかるたに乱入ししても、子どもたちは「いいよ！」と快く仲間に入れてくれる。なかよしごはんには優しい子たちが多いと思う。また、自ら仲間に入ろうとせず孤立気味で打ち解けないでいるとある女の子が1人おり、私からその子に「一緒にかるたやろう、おいで」と声をかけても断られてしまった。しかし、かるたが済み、新しいゲームとして早口言葉ゲームをし始めたところで、その子のことも成り行きで上手いこと仲間に引き込め、そのままゲームを楽しんだ。その子も楽しんでる様子だった。初めてその子の声や笑った表情を見れた気がし、ちょっとしたやりがいを感じることができた。

私たちスタッフは速水さんに呼ばれ、そのまま反省会に移った。サポート先生をしたスタッフたち1人ひとりが、担当した子どもの様子や進捗などを語る。私も担当した子について共有した。この日初めて英語を教えたこと、都道府県パズルを楽しそうにやっていたこと等伝えた。

実はこの日、私の一つ下の弟もこの勉強会に参加させており、弟は先に述べた孤立気味の



女の子の指導担当をしていた。この子は普段からベテラン先生が指導についていたが、今回初めて学生ボラの弟が担当した。その子と弟のやりとりを、私も気にして見ていたところ、弟が上手いこと距離を縮めている様子がうかがえた。その子はひどく口数が少なく言葉のキャッチボールがなかなか難しい子だったが、弟の努力もあってか、ぎこちなくも会話できたようだった。他のスタッフも、普段より様子が柔らかくなったその子を見ていたようで、弟はスタッフからの絶賛を受けていた。

反省会も終わり、解散の運びとなった。弟と一緒に帰宅する際に、「俺ら大学生からしたら、普段 90 分間の講義を受けているわけだから 40 分間の勉強時間は短いわけだけど、小学生からしたら 40～45 分間授業が当たり前なんだよな」と、ふと言ってきた。勉強時間については盲点だった。確かに私の指導担当の子も、開始 20 分ほどで集中力が切れていたように見えた。私はまだまだ小学生たちの目線に立って物事を考えられていなかったなど、この弟の何気ない発言で感じた。弟を連れてきてよかったと思った。今後とも時間的余裕がある日は、なかよしごはんに関わっていこうと思っている。

## 名古屋市熱田区「子ども食堂 なかよしごはん」

### 2021年2月27日勉強会報告

2021/3/22 中京大学 成ゼミ3年 c318079 藤本涼花

開催地：はやみずさんの台所（天理教春港分教会 内）名古屋市熱田区六番二丁目7-6

開催日時：土曜日開催 10：00～11：30

参加費：子ども（中学生まで）100円（昼食の有無に関わらず）

2月27日のメニュー：麻婆ナスごはん、サラダ、デザート

今回の大まかな流れ：勉強指導40分→10分休憩→勉強指導40分→食事準備→ごはん→食器片付け、会場撤去作業→反省会→解散

2月27日（土）、なかよしごはんにボランティアとして参加した。12月19日に初参加して以来、私は5回目の参加となる。今回の勉強会は第7回目の開催だった。前回若干の遅刻した私は、早めに現地へ到着した。屋内へ入る前に手洗いを済ましてから、受付と検温を済ませた。定刻の勉強開始10：00に勉強会はスタートした。これまでは、速水さんが全体を仕切る役割をされていたが、今回から学生サポーターがその役割を担うことになった。今回私はやらなかったが、次回以降に役割が回ってくるかもしれない。

今回も、私が普段から指導担当している小学5年生の女の子の勉強を見た。前回に引き続き今回も算数を一緒に解いた。算数のテスト結果が返ってきたらしく、私にも見せてくれた。ちょうど私が以前から教えていた範囲だった。本人は点数に納得できないようだったが、自分はクラスの平均点を大幅に超えた点数であるとも教えてくれた。確かに私から見ても、小学生が苦手とする範囲だったし、実際のテスト内容もひっかけ要素満載で高難易度な問題が多かった。それでもよくできた結果ではあったから、たくさん褒めたところ、その子も嬉しそうにしており私まで嬉しくなった。

10分間の休憩をはさんだのちテスト直しも終わった。その子も普段以上に頭を使い疲れていた様子だった。そのため残りの時間は、会場で貸し出している学習漫画本やパズルをし、少々ゆるく楽しみながら勉強しないか、私から提案してみた。するとその子は、都道府県（を覚えるための）パズルをやりたいと言ったためパズルの用意をした。私は、その子がパズルする様子を見守り、たまにヒントを出すなどした。勉強会の時間が終わると、その子は用事があるからと、昼食は食べず帰ってしまった。最近、この子と一緒にごはんを食べられていないため、なんとなく寂しい。

昼食準備には全員で取りかかった。相変わらず子どもたちが自発的に昼食の準備を進めていく様子には毎度関心してしまう。全員でいただきますをしてから食事に移った。担当の子が昼食を食べず帰る日、私はベテラン先生のお1人と食事をご一緒する機会が多い。その方は優しく気さくで、話していてとても楽しいだけでなく自分にとってタメになるお話も多い。サポーターの方ともコミュニケーションがとれ、距離も縮められる。一緒に食事をする行為の最大メリットであり、アットホームななかよしごはんの醍醐味であると改めて思う。

食べ終わってからは片付けに入った。皿の片付けや机の移動・撤去や掃除機がけなどを行った。それからは、例のかるたをしている子もいれば、広間でゴロゴロ遊びながらくつろぐ

子もいた。子ども達が各々の好きなことを楽しむ様子を見ていると、子どもたちが本当の家で伸び伸びしているようにすら見える。第3の居場所とはまさにこのことではないだろうか。

片付けも一段落したところで私たちスタッフは、お馴染みの反省会に移った。サポート先生をしたスタッフたち1人ひとりが、担当した子どもの様子や進捗などを語る。私も担当した子について共有した。都道府県パズルを一生懸命やっていたこと、日本地図の位置関係が思った以上に覚えられていない箇所もみられたこと、も伝えた。速水さんや先生方からは、苦手分野はどんどんパズル使いながら覚えさせてあげて、と言葉をいただいた。

この日は7の日ということもあり、夜は通常の子ども食堂も行うとのことだった。昼の勉強会分の食事は質素にすると前回耳にしたが、そんなことはなくいつも通り美味しく全く質素とは感じなかった。私は、なかよしごはんが行う活動の一部にしか参加していないが、今後ともなかよしごはんに関わり続けていこうと思う。

## 名古屋市熱田区「子ども食堂 なかよしごはん」

### 2021年2月20日勉強会報告

2021/3/9 中京大学 成ゼミ3年 c318079 藤本涼花

開催地：はやみずさんの台所（天理教春港分教会 内）名古屋市熱田区六番二丁目 7-6

開催日時：土曜日開催 10：00～11：30

参加費：子ども（中学生まで）100円（昼食の有無に関わらず）

2月20日のメニュー：チリコンカン、マカロニサラダ、デザート



今回の大まかな流れ：勉強指導 40分→10分休憩→勉強指導 40分→食事準備→ごはん→食器片付け、会場撤去作業→反省会→解散

2月20日（土）、なかよしごはんに参加した。12月19日に初参加して以来、私は4回目の参加となる。今回の勉強会は第6回目の開催だった。私は、10：00を若干過ぎて会場に到着し、遅刻してしまった。すぐさま屋内へ入り、受付と検温を済ませた。定刻の勉強開始10：00より5分ほど遅れ、勉強会はスタートした。今回は、子ども・サポーターともに遅刻者が多かったため、速水さんから全体へ10：00前には会場に入るよう指摘があった。次回からは遅刻に気をつけようと猛省した。

今回も、私が普段から指導担当している小学5年生の女の子の勉強を見た。前回に引き続き今回も、算数を一緒に解いた。40分間和気あいあいと勉強できた。

10分間の休憩に入ると、前回同様、子ども達同士が集まりかるた大会が始まった。私も混じって参加した。都道府県名と名産地を学べるかるたで、子どもたちが次々にかるたをとっていく様子には、相変わらず驚かされた。

10分休憩が終わり、勉強に戻った。普段であればその子は、学校で返却されたテスト結果を私に見せてくれることが多いが、今回はなかったようだった。今後もこの子と一緒に勉強できる時間を大切に、しっかり向き合っていこうと思う。

勉強会が終わってからは、昼食準備に全員で取りかかった。全員手洗いをしたのち、机拭き、配膳、お茶くみなどを協力しながら進めた。前回までは速水さんの号令で全員でいただきますをしてから食事に移ったが、今回は若い調理サポーターが速水さんの役割を担っていた。さらに、今日のメニューのチリコンカンの料理説明（発祥の地、調理の流れ、具材等）までしてくれた。チリコンカンを聞き間違えてトンチンカンと発言したサポーターがおり、全体が笑いに包まれる場面もあった。

食べ終わってからは片付けに入った。皿の片付けや机の移動・撤去などをした。それから、再び例のかるたをしている子もいれば、日本地図パズルをしている子もいた。植野くんと中2の女の子がどちらが早くパズルを完成させられるかの勝負をするとのことで、私は

審判としてその勝負を見届けた。子ども達が伸び伸びと各々の好きなゲームを楽しむ様子を毎回見るのが私は好きだ。親の迎えが来出して帰宅する子が出てくると、その他の子達も次第に帰っていった。

子ども達の大半が帰宅し、片付けも一段落したところで、お馴染みの反省会に移った。サポート先生をしたスタッフたち1人ひとりが、担当した子どもの様子や進捗などを語った。私も担当した子について共有した。私は、「担当した子が、明後日にテストがあるらしく次回(2/27)のなかよし勉強会にテスト結果を持ってきてくれるそうです」と話した。ベテランサポート先生方は、その子に対しては「以前より表情や雰囲気随分明るく変わったよね」と前回同様におっしゃっていた。

その子とだけでなく、他の子たちとも距離を徐々につめていきたいと、最近欲が出てきている。しかし、速水さんから子ども達の実状やバックグラウンドを聞くと、その子たちとの関わり方や距離感はどうすべきか迷宮入りしてしまい、どうしても自分にはハードルが高いように思えてしまった。それでも、自分のペースで他の子たちとも少しずつ関わりを増やせていけたらと思う。それを踏まえ、今後も勉強会に積極的に参加していこうと思う。

## 名古屋市熱田区「子ども食堂 なかよしごはん」

### 2021年1月30日勉強会報告

2021/3/9 中京大学 成ゼミ3年 c318079 藤本涼花

開催地：はやみずさんの台所（天理教春港分教会 内）名古屋市熱田区六番二丁目 7-6

開催日時：土曜日開催 10：00～11：30

参加費：子ども（中学生まで）100円（昼食の有無に関わらず）

1月30日のメニュー：ハヤシライス、サラダ、カップケーキ



今回の大まかな流れ：勉強指導 40分→10分休憩→勉強指導 40分→食事準備→ごはん→食器片付け、会場撤去作業→反省会→解散

1月30日（土）、なかよしごはんにボランティアとして参加した。前々回の12月19日に初参加して以来、なかよしごはん勉強会での居心地が良かったため、再度参加することにした。今回の勉強会は第5回目の開催であった。10：00頃会場に着き、玄関外で手洗いをしてから屋内へ入り、受付と検温を済ませた。すぐ、速水さんから全体へ大まかな流れの説明があったのち、勉強に取りかかった。

今回も、前々回私が担当した小学5年生の女の子の勉強を見た。今回は算数を一緒に解いた。私もその子も分からない問題があった際、ベテラン先生（教員を退職された方・教員免許を持っておられる方）に尋ねてみたところ、テキストに記載されたヒントを見つけてくださった。テキストの隅々まで見落とさないようにするよう、私は指摘をもらった。次回からの個人的な改善点である。この時に、勉強を教えることは非常に難しくかつ奥が深いことなのだ改めて感じた。

10分間の休憩に入ると、何やら子ども達が集まってかるたをし始めたので、私も混じって参加した。都道府県名と名産地を学べるかるただった。前のめりになってお手つきもお構い無しに夢中になってかるたをする子もいた。子どもたちが次々にかるたをとっていき様子には驚かされた。

10分休憩が終わり、勉強に戻った。勉強時間の終わりがけにその子が、学校で返却されたテスト結果2枚を私に見せてくれて、満点とほぼ満点だった。嬉しそうに少し誇らしげに見せてくれた。その子がこのまま高得点をキープできるよう、私もその子との勉強にしっかり向き合っていきたいと思えた。

勉強会が終わってからは、昼食準備に全員で取りかかった。手洗いをしてから、机拭き、配膳、お茶くみなどを協力しながら進めた。速水さんの号令で全員でいただきますをしてから食事に移った。今回も食事中は童謡(?)のレコードが流された。カレーライスは甘口と中



子どもたち1人ひとりが自らのやるべきことを理解しており、自発的に行動している様子がうかがえる。

辛を選べるよう配慮されていた。子どもたちも何人かカレーのおかわりをしていた。

食べ終わってからは片付けに入った。皿洗いや皿拭き、机の移動・撤去、お堂の掃除機がけなど、何かしようと思っていたところ、再びかるたをしようと誘われた。人数が多い方が楽しいからとのことだった。とにかくかるたを速さ勝負でとっていた子どもたちに対して、終盤にさしかかり読み上げ役を代わった速水さんが「かるたの中身まで覚えているかな?」と、速さ勝負から知識勝負の雰囲気へ変えた。学習かるたの醍醐味を發揮させてくださり、やはり速水さんは子どもの扱いのプロフェッショナルだった。かるたも終わり、次第に親の迎えも来て帰宅する子も出てきた。

子どもたちが全員帰宅し、片付けも一段落したところで、反省会に移った。サポート先生をしたスタッフたち1人ひとりが、担当した子どもの様子や進捗などを語った。私も担当した子について共有した。「その子を初担当した時と比べ、固かった口調や表情が少し解け、親密な関係が築けていると個人的には思う」と話した。するとベテランサポート先生方も、私たち2人の様子を見てくださっていたらしく、「確かにその子については、表情や雰囲気が随分明るく変わったよね」と同調してくださった。私が担当をし出してからの変化らしいため、余計に嬉しい言葉に感じた。自分がボランティアとして参加した産物としてプラスな変化が見られることはこの上ないことであるし、なかよしごはん勉強会では本当に良い経験をさせてもらっていると強く思う。今後も勉強会には積極的に関わっていくつもりだ。

反省会後は実際に速水さんとお話する機会を得られた。地元小牧での子ども食堂新設における個人的な悩みを聞きアドバイスをくださった。子ども食堂の運営者かつ様々な催し(子育て相談会や、勉強会も然り)を取り行う第一線で活躍されている方ということもあり、やはりアドバイスの1つひとつに明確な根拠と説得力があった。私の悩みをあっという間に解決していただき、大変前向きな気持ちになれた。速水さんには頭が上がらないし、感謝してもし切れない。思い切って速水さんに相談してみて良かったと心から思う。

## 名古屋市熱田区「子ども食堂 なかよしごはん」

### 2021年1月23日勉強会報告

2021/1/30 中京大学 成ゼミ3年 c318079 藤本涼花

開催地：はやみずさんの台所（天理教春港分教会 内）名古屋市熱田区六番二丁目7-6

開催日時：土曜日開催 10：00～11：30

参加費：子ども（中学生まで）100円（昼食の有無に関わらず）

1月23日のメニュー：カレーライス、サラダ、福神漬け、らっきょう、寒天ゼリー



今回の大まかな流れ：勉強指導40分→10分休憩→勉強指導40分→食事準備→ごはん→食器片付け、会場撤去作業→反省会→解散

1月23日（土）、なかよしごはんにボランティアとして参加した。前々回の12月19日に初参加して以来、なかよしごはん勉強会での居心地が良かったため、再度参加することにした。今回の勉強会は第4回目の開催であった。10：00頃会場に着き、玄関外で手洗いをしてから屋内へ入り、受付と検温を済ませた。すぐ、速水さんから全体へ大まかな流れの説明があったのち、勉強に取りかかった。

今回も、前々回私が担当した小学5年生の女の子の勉強を見た。今回は算数を一緒に解いた。私もその子も分からない問題があった際、ベテラン先生（教員を退職された方・教員免許を持っておられる方）に尋ねてみたところ、テキストに記載されたヒントを見つけてくださった。テキストの隅々まで見落とさないようにするよう、私は指摘をもらった。次回からの個人的な改善点である。この時に、勉強を教えることは非常に難しくかつ奥が深いことなのだ改めて感じた。

10分間の休憩に入ると、何やら子ども達が集まってかるたをし始めたので、私も混じって参加した。都道府県名と名産地を学べるかるただった。前のめりになってお手つきもお構い無しに夢中になってかるたをする子もいた。子どもたちが次々にかるたをとっていく様子には驚かされた。

10分休憩が終わり、勉強に戻った。勉強時間の終わりがけにその子が、学校で返却されたテスト結果2枚を私に見せてくれて、満点とほぼ満点だった。嬉しそうに少し誇らしげに見せてくれた。その子がこのまま高得点をキープできるよう、私もその子との勉強にしっかりと向き合っていきたいと思えた。



勉強会が終わってからは、昼食準備に全員で取りかかった。手洗いをしてから、机拭き、配膳、お茶くみなどを協力しながら進めた。速水さんの号令で全員でいただきますをしてから食事に移った。今回も食事中は童謡(?)のレコードが流された。カレーライスは甘口と中辛を選べるよう配慮されていた。子どもたちも何人かカレーのおかわりをしていた。



昼食準備をする様子。  
全員同じ方法を向いて食事する。

食べ終わってからは片付けに入った。皿洗いや皿拭き、机の移動・撤去、お堂の掃除機がけなど、何かしようと思っていたところ、再びかるたをしよう誘われた。人数が多い方が楽しいからとのことだった。とにかくかるたを速さ勝負でとっていた子どもたちに対して、終盤になると読み上げ役を代わった速水さんが「かるたの中身まで覚えているかな?」と、速さ勝負から知識勝負の雰囲気へ変えた。学習かるたの醍醐味を發揮させてくださり、やはり速水さんは子どもの扱いのプロフェッショナルだった。かるたも終わり、次第に親の迎えも来て帰宅する子も出てきた。

子どもたちが全員帰宅し、片付けも一段落したところで、反省会に移った。サポート先生をしたスタッフたち1人ひとりが、担当した子どもの様子や進捗などを語った。私が担当した子についての共有をしたところ、その子が前回(1/9の勉強会で私は不参加。)学習したドリルを今回も持参する指示を守っていなかったことに対し、ベテラン先生方が強く指摘していた。少しきつい口調での物言いだったため、私個人的には、その子のたまたまのミスだしそこまで言わなくてもいいと思った。しかし、ベテラン先生方はやはり教えるプロであり、教員経験のある方もいる。だからこそ、教えることを通じて子どもたちと真摯に向き合おうという意識が私よりも強く感じられた。私もベテラン先生の姿勢を見習っていこうと思えた。

参加した子どもたちの大半がひとり親家庭の子どもであることは前回の参加で知ったが、知った上で子どもたちと接していてもやはり、勉強会や食事の様子だけではひとり親家庭の出であることは全く分からなかった。反省会のあとに、速水さんから何人かの子ども家庭状況、勉強会の参加者のキャパ問題について教えてもらった。なかよしごはんを通じて徐々に不登校を克服しよう努めている子と、父が病気で母の稼ぎでなんとかやりくりする家庭を背景に持ちなかよしごはん勉強に力を入れている子の話が聞けた。また、勉強会への参加者が回を重ねるにつれて増えていることも課題だと教えてもらった。会場の収容人数に対して参加人数が多くなり密の状態になることは、このコロナ禍では避けたい。なかよしごはんのクチコミが良い形で地域を越え、聞きつけた人が実際に訪れてくれるのは素晴らしいことだが、参加のお断りをするのも心が痛む。なかよしごはんの死活問題と言えそうである。2回目の参加ではあったものの、1人ひとりが厳しい環境に置かれていること

と、なかよしごはんのニーズの高さも知ることができた。第5回目となる来週の1/30の活動にも参加するつもりである。

## 名古屋市熱田区「子ども食堂 なかよしごはん」

### 2020年12月19日勉強会報告

2020/12/23 中京大学 成ゼミ3年 c318079 藤本涼花

開催地：はやみずさんの台所（天理教春港分教会 内）名古屋市熱田区六番二丁目7-6



開催日時：土曜日開催 10:00～11:30

参加費：子ども(中学生まで)100円(昼食の有無に関わらず)

12月19日のメニュー：炊き込みご飯、みそ汁、たくあん、サラダ、果物



今回の大まかな流れ：勉強指導→10分休憩→勉強指導→食事準備→ごはん→食器片付け、会場撤去作業→反省会→解散

12月19日(土)、なかよしごはんに初めてボランティアとして参加した。元々、なかよしごはんには以前からずっと1度は行ってみたいと思っており、植野君が勉強会に興味がないかと誘ってくれたことがきっかけで、参加することを決めた。

今回はメインが「なかよし勉強会」だった。そして1時間半(10分休憩込み)の勉強会の後は、昼食が振る舞われた。今回の勉強会は、第2回の開催だった。

「なかよし勉強会」では、その名の通り学校の宿題をサポート先生と一緒に勉強する。対象は小学生～中学生。実際の子どもの参加者は10人ほどで、大半が小学生の参加者だった。あくまでも「なかよし勉強会」は学習塾ではなく、マンツーマン指導によって、子ども1人ひとりの学力に合わせ、サポート先生と一緒に宿題を理解しながら解いていく形式であった。サポート先生として、教員を退職された方・教員免許を持っておられる方の5名ほどが、大学生スタッフは中京大学現社3年の3名が、勉強の指導にあたった。また学習内容は、宿題に限らず授業の復習・予習、自習など様々であった。子どもたちは、各々実際に教えてほしい教科のテキストやドリルなどを持参してきていた。学校の勉強や宿題が1人で進まず困っている子どもにはもってこいの活動である。

私は10:00前に会場に着き、玄関外で手洗いをしてから屋内へ入り、受付と検温を済ま

せた。私が着くよりも早く、年配の女性の方々が調理している様子が見えた。普段からなかよしごはんの子ども食堂で調理担当をされているベテランメンバーの方々だったそう。

すぐに、今回自分の指導担当する子どもの元へ案内され、軽く自己紹介しておいた。小学4年生の男の子だった。代表の速水さんから全体へ挨拶や注意事項の確認をしたのち、勉強会へ移った。ベテランのサポート先生の1人から「その(小4の男の)子の事も見つつ、隣の子も見せてあげてね」と言われ、小学5年生の女の子の勉強も見ることになった。結局のところ終始ずっと私はこの女の子の担当をした。ドリルや問題集を持参し取りかかる子たちが多く、私の担当したその子は社会科のテキストとノートのみ持参で、この日は予習をしに来たようだ。しかし予習の範囲が想像以上に少なく、即座に予習は終わった。過去やった内容の復習をするのはどうか、と私が提案してみたところ、その子は納得してくれた。時折、私の事を「先生」と呼んでくれるので、何となくくすぐったい気持ちになった。ノートのとり方が上手で、「授業で先生がこう言った」「これニュースで見たことある」という発言が多く学習に対して意欲的な子であることが私でもよく分かった。主に、難しい漢字の読みや、語句の説明に関する質問をされた。質問に対する私の回答をノートにしっかり書いてくれていた。その子はよく話す子で、話していて楽しかったので、1時間半ある勉強会も私は全く苦ではなかった。

私と一緒に食事した子は私と一緒に帰りたがっていたが、私たちスタッフは反省会に参加しなければならなかったため、やむなくお別れした。

反省会では、サポート先生をしたスタッフたち1人ひとりが、担当した子どもの様子や進捗などを語った。私が担当した子についての共有をしたところ、「(社会科は特にドリルなどはない)クイズを出して答えさせると、力がつくし自信もつけてあげられるよ」などと、ベテラン先生のお1人が指導方法のアドバイスをしてくださった。私のような指導の未経験者にとっては、教員経験のある方からの言葉は新鮮であったし、「教える」ことを「教えて」いただける大変貴重な機会になった。地元小牧の子ども食堂立ち上げにおいても勉強会を取り入れる方向性になっているため、今回学べたことは是非参考にしようと思っている。

また、参加した子どもたちの大半がひとり親家庭の子どもであることをこの反省会の中で初めて知り、驚いた。子どもたちの勉強会と食事の様子を見ている楽しそうにしている子たちばかりで、ひとり親家庭の出であることなど全く分からなかった。子どもの見た目や様子で家庭環境は分からない、とはこのことなのかと実感した。

スタッフ間で、第1回の前回よりも子どもたちが楽しそうにしていたという声がよく上がっており、初のなかよしごはん参加の私としても嬉しく思う。今回私が密接に関わった2人の子どもたちから「先生、次回もまた来て!」と言われたのは嬉しかった。最近のわいわいではフードパントリーへの切り替えにより子どもたちとふれあう機会が大幅に減ってしまっていたさなか、今回のなかよしごはんでは子どもたちと交流しさらには温かく迎えてもらえたのは久々に感じられた。次回の勉強会にも参加したいと強く思った。

## 11月17日なかよしごはん参加報告

植野航史

日時：2020年11月17日（火）15時～20時

会場：天理教会

参加者：約50名（スタッフ約10名、初参加の学生3人、取材の学生数名）

当日の流れ：準備・調理→会場準備→受付・配膳→片付け→振り返り→解散

メニュー：鶏肉の梅肉チーズ春巻き、肉じゃが、ほうれん草のおひたし、お味噌汁、かき、キウイ、ミニくずチョコレート



なかよしごはんはコロナ対策が徹底されており、会場に入る前の手洗い、検温、会話の制限、食事の向き、おかわりをする時のお箸やしゃもじを使う人の担当がいるなど安心して食事をとることができる環境になっている。また食事をとる時間が分かれているため、一度に密集せずに食事ができる仕組みになっている。しかし、時間通りに来てくれない参加者も中にはいる。いくら主催者側がコロナ対策を行っていても、参加者の心構えが緩んでいては感染のリスクが高まってしまう。主催者と参加者のコロナへの認識の差を埋めることが必要である。

なかよしごはんの手作りにこだわる姿勢はコロナ禍の活動でも変わらず、むしろコロナ禍によって増している気がする。外食をすることへの抵抗感からかお弁当やテイクアウトなど手軽に食



べられるものへの需要が高まりつつある。一方で、手が込んだ料理や家庭の味などを低価格で食べることができるなかよしごはんの存在は、人と人との接触が制限されたコロナ禍でも人が作った料理を食べているとして人のつながりを実感できる場所である。

また今回のなかよしごはんに参加して、日本のフードロス事情を感じることができた。今回使用したほうれん草は少しでも黄色いと見栄えが悪いとされ、売り物にならないとのことで、ダンボールで何箱も寄付をいただいた。味は問題なく美味しく食べられるのに、見た目が少し悪いだけで売り物にならないと処分されてしまうのは、大変心苦しく感じた。

## 10月7日なかよしごはん参加報告

植野航史

日時：2020年10月7日（水）15時～20時

会場：天理教会

参加者：約50名（スタッフ10名）

当日の流れ：準備・調理→会場準備→受付・配膳→片付け→振り返り→解散

メニュー：栗ご飯、唐揚げ、ポテサラ、かぼち  
ゃの煮物、獅子唐、冬瓜汁、パイナップル、  
ウサギの蒸し饅頭、ナスの漬物



今回はコロナ前のように全メニューの手作りを解禁し、エプロンと三角巾、マスク、手袋を付けスタッフ総出で準備を行った。野菜やお肉、お米、饅頭など様々な寄付をいただき、寄付を生かしたメニューになっている。また栗ご飯からは季節を感じることができ、揚げ物や煮物など家庭で作るとなると手間になってしまうおかずも食べることができる。



会場の入り口には手洗い場が設置されており、会場に入る前に手を洗うことができる。会場内には大きな空気清浄機が設置され、安心して参加することのできる環境作りがされていた。参加者は事前予約制で、時間帯に分けた入場制限を設けていた。17時から19時半の食事時間を3回に分け、各回大体5家族ずつ来ていただく仕組みになっている。そうすることで混雑や待ち時間もなく、お食事をとっていただくことができ、スタッフも余裕を持って活動することができる。会場は食事をする人全員が同じ方向を向くような机の配置にし、配膳やおかわりはスタッフが行った。特にトラブルなどもなく、今回のなかよしごはんを終えることができた。

今回は初めて来られる参加者の家族や、スタッフの方が書いた新聞記事を見て参加するようになったスタッフの方にお会いすることができ、背景はどうであれなかよしごはんを必要とする方が増えていると感じた。また参加者の方が、旦那が娘と来てもよろしいですかと聞いていた会話が印象に残っている。なかよしごはんは事前に予約をしていただければ、どんな方でも受け入れているため、是非お父さんも参加していただきたい。



## なかよしごはん参加報告

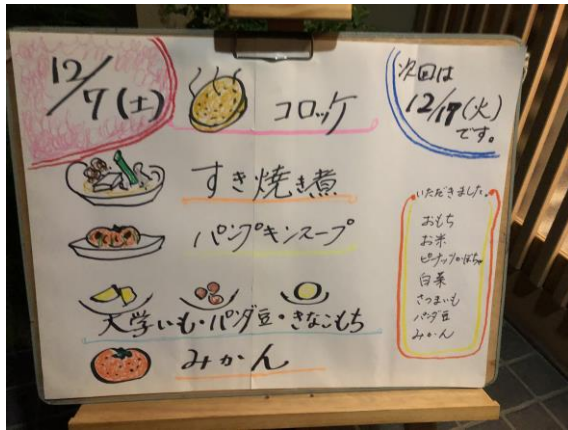
植野航史

日時：2019年12月7日土曜（毎月7のつく日に開催）

場所：天理教教会（名城線六番町駅より徒歩5分）

今回は17時半から参加。準備からは参加できなかったが、食事開始の17時半には間に合っ  
て良かった。久しぶりの参加だったが、温かく迎え入れてくださった。参加者は大人の方が12名、  
小学4年生から中学3年生までの子が7名、小学1年生から3年生までの子が10名、幼児が6  
名、乳児が1名、スタッフが13名（学生スタッフは4名）。学生スタッフの方々は全員、なかよ  
しごはんに通い続けている方々なので慣れた対応で活動をしていた。学生スタッフの中には岡  
崎女子大の方も参加していた。通常は定員がボランティアを除き45名のため、今回の参加者は  
少なめだった。参加者が少ない理由として、開催日が休日であるため平日に比べると時間もある  
事から、家でご飯を食べる人も多いのではないかと考えていた。

今回の献立は、コロッケ、すき焼き煮、パンプキンスープ、大学芋、パンダ豆、きな粉餅、み  
かん。（写真1.2）ご飯やスープ、おもちなどはおかわりができるため自由におかわりをする  
ことができた。（写真3.4）



(写真.1)



(写真.2)



(写真.3)



(写真.4)

元々はコロッケではなく魚のフライだったそうだが、トラブルにより急遽コロッケに変更さ  
れていた。トラブルにも臨機応変に対応されていて、主婦の知恵や回を重ねているからこそ  
のアイデアなのだと感じた。なかよしごはんはありがたい事にいつも多くの食材を寄付で  
いただいているため、今回も寄付でいただいたものを多く使った献立になっていた。味付け  
や盛り付けな

どもこだわっているため、今回も食べる前からすでに美味しかった。おかわりのお餅にアレンジを加えるなど来てくださる方に少しでも美味しいものを食べてもらおうという想いから工夫が加えられていた。また地元の名産品や郷土料理なども多く取り入れており、今回はかくふやパング豆など馴染みの無い食材を食べることができた。(写真5)



(写真. 5)

地元の名産品や郷土料理を食べる機会があることも、なかよしごはんならではの特色だと思う。

また今回は新たに食器置き場を増設していた。(写真6) いつもは食べ終えた食器は自分で洗い場までもっていくシステムをとっていたが、前回、参加者が多く洗い場が大変だったため今回新たに食器置き場を増設した。食器置き場を作ることによって、効率的に洗い物ができることから今後も取り入れていこうという方向になっていた。



(写真. 6)